

## 研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： 細胞集団の活動動態解析と回路モデルに基づいた記憶統合プロセスの解明

2. 研究代表者： 井ノ口 馨（富山大学大学院医学薬学研究部 教授）

### 3. 中間評価結果

光遺伝学的手法を用いて、マウス脳に蓄えられている異なる2つの記憶を持つ神経細胞集団を人為的に活動させ、新たな記憶を作り出すことに成功している。また、行動タグ成立時には強烈な体験とささいな出来事の記憶エンングラムの重なりが広いことを発見する等、競争相手がひしめく本分野において、高度な実験技術を確立され、精力的に研究を進められている。いずれの成果も、広く一般にも理解出来る説明を加え、積極的に広報活動をされている点は望ましい。

更に、研究の進捗と発展の可能性を見据えて、グループの構成を点検・再編成する等、研究チームのマネジメントが巧妙である。

今後は、記憶統合に関する解析結果を数理モデルへつなげる研究を加速し、記憶統合プロセスの全容解明に向けて研究を推進していただきたい。